

13 気柱共鳴

(酒井建蔵・地元顕)

音叉を使って気柱共鳴を行うと、音が小さく、また音叉の減衰があり全員には共鳴点が聞き取りにくい。そこで、スピーカーとマイクを用いるとよく聞こえ、振動数を適当に選ぶと共鳴点も多くできる。

